

Rainbow Times

公開講座

「親子のコミュニケーションー関係性を豊かに育むー」開催しました

講師：正高信男 教授（京都大学霊長類研究所）

11月12日(火)

今年度の公開講座は、ヒトを含めた霊長類のコミュニケーション研究の第一人者で、評論家としても著名な、正高信男先生をお迎えし、生物としてのヒトの子育ての特徴や、発達初期の親子のコミュニケーションの重要性について学ぶ機会としました。

講演ではサル（チンパンジー）の家族について話がふくらみました。サルの世界では、いじめや虐待はないと言われていたそうです。日本ザルの群れではオス・メスが共に暮らしており、子どもの父親は誰かわからず、子育てはメスが担っているそうです。また、手がザルは一夫一妻の核家族であり、人間と同様の家族形態…と思いきや、いわゆる、婚外子の子どもも多く、実は父親が入れ替わることが多いそうです。子育ては母親中心に行われ、父親が変わってもきちんと子育てが行われると言います。では、なぜ人間の世界では虐待が起きるのでしょうか。正高先生は「血縁」をキーワードに挙げました。血縁という概念にとらわれることで、社会が子どもを育むという基本的なことが忘れられていないか、また、虐待が起きる背景として、現代社会は多様性が排除され、均一化されていることに警鐘を鳴らしています。個々の違いを大切に教育や、血縁のつながりだけではなく社会全体で子どもを育むことが大切であると述べられました。（南山）



ヨーロッパのロマ人差別問題

先月、アテネのロマ人キャンプで金髪の白人女兒 Maria ちゃんが発見され、女兒を育てていた黒髪褐色の夫婦が誘拐もしくは人身売買の疑いで逮捕された事件がありました。この事件をきっかけに、ロマ人に対する差別に注目が集まっています。報道によると、ロマ人夫婦は「経済的事情のあるベルギー人女性から Maria ちゃんを買い、愛情を持って育てていた」と供述しているそうです。

ロマ (Roma) とは、9-14 世紀にヨーロッパ全土に移住した、インド起源の移動型民族の呼称です。放浪民族には、ジプシーやツィガニーなど様々な呼称があり、中には差別的な意味合いを持つ呼び名もありますが、欧州政府などは『ロマ』と呼びます。

現在、ヨーロッパ諸国に暮らすロマ人は、推定 1000 万人以上とされています。ロマ人差別は 15 世紀中頃から始まったとされており、強制労働やナチスによる虐殺などの迫害を受けてきました。現在でも強く存在する差別への反感は大きく、早急な取り組みが求められています。以下に、国際連合が発表したデータを紹介します。

国際連合発表データ (ロマ人居住者に対する調査：2011, 2004)

- **貧困**：約 90% は各国の貧困線を下回り、約 40% は食料を買えず空腹のまま寝ることが日常にあった
- **雇用**：有給の仕事を持つ者は 3 分の 1 以下、3 分の 1 は無職、非正規就業率は一般の 4 倍以上だった
- **教育**：幼稚園や保育所に通う児童は 2 人に 1 人、中等教育や職業教育を受けた若者は 15% だった
- **住居**：約 45% の住居で、台所、トイレ、風呂もしくはシャワー、電気のいずれかがなかった
- **医療**：34-54 歳のロマ人のうち 3 分の 1 が日常生活に支障のある健康状態を訴え、14 歳以下の児童のうち 15% が予防接種を受けていなかった
- **人権**：約 40% が、人種による雇用差別の禁止などの法律や人権についての知識を一切持っていなかった (山邊)

オレンジのたすきに願いを込めて

～第 7 回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー開催しました！

10月27日(日)

気持ちのいい青空のもと、第 7 回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーが開催されました。湘南コース(全 7 区約 60km)、都心コース(全 9 区約 40km)、鎌倉・三浦・横須賀コース(全 10 区約 70km)の 3 コースを設定し、各区 10～20 名のランナーが「子どもたちに明るい未来を」と描かれたオレンジたすきをリレーでつなぎ、多くの観光客が訪れる横浜・山下公園へゴールしました。ランナーは年々増えており、今年はなんと、総勢 510 名でした。

スタート地点の渋谷ハチ公広場、鎌倉高德院、中継地点の東京タワーをはじめ各中継所では手作りのオレンジリボンを市民に配布するなど、様々な団体が協働してキャンペーンが行われました。ゴール会場でもある山下公園では、ステージ上での演出だけでなく、これまでで最も多い数のブースが設けられ、子どもたちを始め家族が楽しめるイベントでした。さらに、震災復興を願い一昨年度から始めた、オレンジのキルトにメッセージを頂く「祈りの Friendship キルト」も行い、たくさんの方の温かい言葉がキルトに描かれました。

たすきリレーは、栃木県小山市、岐阜県、滋賀県、高知県、山口県など全国で行われるようになりました。そして今年は韓国ともたすきをつなげあい、確実にたすきリレーの輪は広がっていることを実感します。



たすきリレーHP：<http://www.orange-tasuki.org/>

感動のゴール！！！！！！

H25 研修より申込方法を変更しています！

Fax での申込→インターネットによる申込
詳しくは各研修の実施要項やHPをご覧ください。

情報発信の配信先アドレスの変更・配信停止等ございましたら guest-1@crc-japan.net までご連絡ください。